

科目名	心理支援に関する理論と実践	副題	
担当者	伊東 正裕・新井 彩加		
開講期	後期	単位数	2単位 配当年次 1年次
授業の概要	心に関する相談、助言、指導その他の援助である心理支援に関する理論と実践を学ぶ。心理支援に関する代表的な理論と方法を理解し心理支援場面に応用出来ること、支援対象者の特性や状況に応じ支援方法の柔軟な選択・調整をおこなえるようになることが求められる。		
授業のねらい・到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・心理支援に関する力動論に基づく心理療法の理論と方法を理解し説明出来る ・心理支援に関する行動論・認知論に基づく心理療法の理論と方法を理解し説明出来る ・その他の主要な心理療法の理論と方法を理解し説明出来る ・心理に関する相談・助言・指導等の活動に上記理論と方法を応用出来る ・心理支援を要する人々の特性や状況に応じて心理支援方法を適切に選択・調整出来る 		
授業の方法・授業計画			
1	授業オリエンテーション：授業概要、到達目標、授業の進め方		
2	心理支援に関する力動論：フロイト世代		
3	心理支援に関する力動論：フロイト以降		
4	心理支援に関する行動論・認知論：行動療法		
5	心理支援に関する行動論・認知論：認知療法		
6	心理支援に関する行動論・認知論：認知行動療法		
7	心理支援に関するその他の理論・方法：パーソン・センタード、家族療法、内観法等		
8	心理支援に関する相談・助言・指導等への応用：力同論		
9	心理支援に関する相談・助言・指導等への応用：行動論・認知論		
10	心理支援に関する相談・助言・指導等への応用：その他の理論・方法		
11	心理支援対象者の特性・状況と力同論との関係		
12	心理支援対象者の特性・状況と行動論・認知論との関係		
13	心理支援対象者の特性・状況とその他の理論・方法との関係		
14	心理支援をおこなう者に共通な態度、考え方		
15	全体のまとめ		
期末	レポート		
授業に関する連絡	「でんでんぱん」の通知機能を用いておこなう。		
評価方法及び評価基準	期末レポート（60%）、授業中での課題等への取り組み（40%）で総合的に判断する。		
事前・事後学習の内容	毎回の授業で具体的に説明する。事前・事後合わせて2時間の学習を要する。		
履修上の注意			
テキスト	特に使用しない。授業中に資料を配布する。		
参考文献	授業中に適宜紹介する。		